



令和2年7月31日



堤防除草の生産性向上に向けて、除草自動化ワーキング(第1回)を開催します！

～ SMART-Grass ～

Self-Moving And Remote-sensing Technique for Grass-cutting

堤防除草の生産性向上に向けた ICT(情報通信技術)を活用した除草作業の自動化についての検討ワーキングを以下のとおり開催します。

日時： 令和2年8月6日(木) 10:00～11:30

場所： 札幌第一合同庁舎 10階2号会議室
(札幌市北区北8条西2丁目)

議事： ①除草自動化の検討(SMART-Grass)の体制と
今後の検討スケジュールについて
②今年度の取組について

取材： 冒頭(挨拶まで)のみとさせていただきます。

※配付資料・議事概要は、ホームページに掲載する予定です。

※取材に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒や手洗いにご協力をお願いいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

事業振興部 技術管理課

技術管理企画官 西村 敦史(内線5483)

開発専門官 唐澤 圭(内線5650)

北海道開発局ホームページ
<https://www.hkd.mlit.go.jp/>



背景

- 北海道は全国よりも10年先行して人口減少や高齢化が進行しており、河川維持管理に従事する労働者不足が懸念されている
- 近年激甚化・多様化する災害に対し、堤防などインフラの品質確保と適切な機能維持が不可欠
- インフラメンテナンスにかかる作業の省人化、効率化、費用の縮減が必要

目的

- 河川堤防の維持管理の生産性向上のため、**ICT（情報通信技術）を活用した堤防除草作業の自動化**の取組を進める
- この取組を通じて**建設現場における生産性向上に資する技術の開発や実用化**を進める

実施内容

- 丘陵堤における大型除草機による除草自動化検討
- ロボットトラクタ・遠隔式大型除草機を活用した除草自動化技術の開発
- 自動除草機の運用基準等の策定

石狩川丘陵堤（たっぷ大橋下流付近）の除草幅



除草自動化検討ワーキング ～ SMART-Grass ～

アドバイザー 北海道大学大学院 農学研究院
野口 伸 教授
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
寒地機械技術チーム・水環境保全チーム

構成員 北海道開発局
事業振興部 技術管理課・機械課
建設部 河川管理課
札幌開発建設部

SMART-Grass 試験地 (丘陵堤 たっぷ大橋下流左岸)



※SMART-Grass とは...

～Self-Moving And Remote-sensing Technique for Grass-cutting～

除草自動化検討ワーキングのキャッチフレーズです。

トラクタモアによる丘陵堤の除草状況



遠隔式大型除草機による除草状況



ロボットトラクタ



遠隔式大型除草機

